

# アドミッション、カリキュラム、ディプロマの3つのポリシーに基づくアセスメントの仕組みの概要

## 入学時考査

→ アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの判定

### 入学試験

推薦入試  
AO入試

○調査書等の記載内容(社会的活動の経験、等)  
○面接時の試問  
○小論文の論題  
○入学前レポートの課題(合格者のみ)

一般入試

○国語、社会科等の試験問題での工夫  
○小論文の論題(B日程)

学生アンケート

○入学時アンケート(自己評価)

学修ポートフォリオ

○現状の学士力・社会人基礎力・人間力のルーブリック評価  
○学科のディプロマポリシーの理解状況

## 単位認定・進級判定

→ カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうかの評価

定期試験  
各種レポート  
成果発表、等

○授業目標達成  
=カリキュラムマップ記載の各種能力の獲得  
=単位の認定

履修系統図  
履修モデル  
履修カルテ(教職)

○各種資格の取得等に向けて、年次進行に伴う履修プログラムが遂行されているか

学生アンケート

○各年次終了時における学修活動の振り返り

学修ポートフォリオ

○各年次半期ごとの、学士力・社会人基礎力・人間力のルーブリック評価

## 卒業時判定

→ ディプロマ・ポリシーを満たす人材になったかどうかの判定

卒業要件  
(GPA)

○単位取得  
=カリキュラム・マップに記載の各種能力の保障  
○卒業論文審査、卒業試験(低成績者のみ)の合格

資格取得

○就業に必須となる各種資格の有無

進路状況

○希望する職業への就業、進学等の成否

学生アンケート

○学修満足度  
○学士力等達成度(自己評価)

学修ポートフォリオ

○卒業時の学士力・社会人基礎力・人間力のルーブリック評価

\* 教学マネジメント担当部会の主導による定期的検証の項目

①教育プログラム全体の中で個々の授業科目が学生の能力育成のどの部分を担うかについて教職員の認識が十分か

②他の授業科目等と連携・関連し合いながら組織的に教育を展開できているか

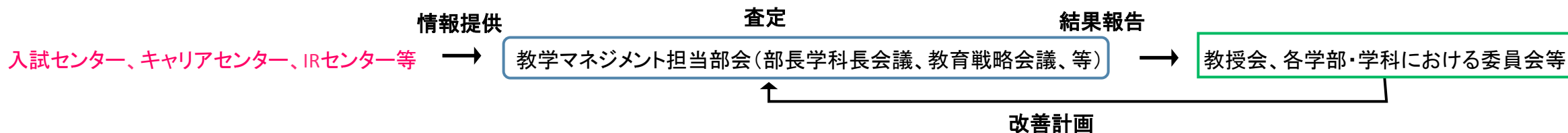
③学修成果をプログラム共通の考え方や尺度で評価し、その結果をプログラムの改善・進化につなげるというPDCAサイクルが回る構造になっているか

# アセスメント・ポリシー(HPより抜粋)に基づく各レベルでの査定とフィードバックの流れ

東北福祉大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル(大学)・教育課程レベル(学部・学科)・科目レベル(授業・科目)の3段階で学修成果を査定する方法を定めています。

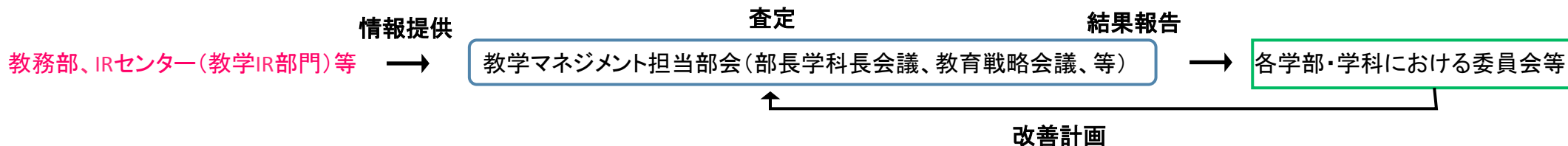
## 1. 機関レベル

学生の志望進路(就職率、資格・免許を活かした専門領域へ就業率及び進学率、等)から学修成果の達成状況を査定します。



## 2. 教育課程レベル

学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、卒業要件達成状況(単位取得状況・GPA)から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を査定します。また、学年ごとの単位取得率・成績分布の状況から、学士力における汎用的技能と態度・志向性について、1年次における基礎、2年次における活用と実行、3年次における応用と定着、そして4年次での統合的学習、創造的思考の獲得状況を学修成果として査定します。



## 3. 科目レベル

シラバスで提示された授業等科目の学修目標に対する評価、及び学生アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を査定します。

